

2016年(平成28年)11月26日(土曜日)

家庭などで余った食品を募り、生活に困っている人に届ける「フードドライブ」に、名古屋市は本格的に取り組む方針を明らかにした。中区栄一の市環境学習センター(エコパルなごや)を活動拠点とする。

フードドライブは九、十月に開かれた環境関連の行事で試行。会場に集まった米や菓子などを、生活困窮者に食品を配る活動に取り組むNPO法人セカンドハーベスト名古屋(北区)を通じて、市内の福祉団体などに届けた。会場のアンケートで、七割の市民が「持ち込む場所などがあれば、利用したい」と高い関心を示した。

## 余った食品集配 本格始動へ

エコパルなごやを常設の拠点にして、集まった食品をセカンドハーベスト名古屋を経由して届ける方針。

今後、受け付け態勢や運搬手段などを詰め、年度内に開始する。

市によると、二〇一五年度の家庭系生ごみは十三万四千ト。このうち、食べずに捨てられる「食品ロス」は七万七千トに上る。

三輪芳裕氏(公明)の質問に、山本正雄環境局長は「食品廃棄物の発生抑制だけでなく、市民が『もったいない』の心をはぐくめる方策だ。より身近な拠点でも幅広く検討したい」と拡大にも前向きな考えを示した。